



拓北・あいの里地区社協ニ通信

拓北・あいの里地区社会福祉協議会

会長：渡邊 寛 広報部長：森下 満

この広報冊子は赤い羽根共同募金の支援を受けています

No 71

令和5年 2月 1日

**1月11日(水)に社協常任理事会が行われました。
各部の活動状況と今後の予定についてご報告します。**



with コロナに向けて、基本的な感染対策をしながら、各事業を進めていきます

■ 総務部より ■

- ・ 昨年 11 月から年末にかけて、福まちの部屋に、電話相談や直接相談に来られるケースが複数件ありました。これらの事例から、相談ニーズに対応できる場所、人（材）という受け皿を整える必要があると考えます。まずは 5 名位のグループで事例ごとの対応マニュアルの作成を進めることから始めるなど、今後検討を重ねていきます。

■ ふれあい交流部より ■

- ・ 1月12日(木)のひまわりクラブは地区センター和室に1組・2名の親子さんが集まりました。
- ・ 次回は2月7日(火) 10:00~11:30、ひまわり会館(拓北7条3丁目1-18)にて開催予定です。拓北地区の親子さんの参加をお待ちしています。



1組・2名の親子さんの参加者があった、正月明けのひまわりクラブ

■ 地域ケア部より ■

- ・ 12月例会は、20日(火)18:30-20:00、ゲストに札幌優翔館病院長・医師の北川真吾(きたがわ・しんご)さんをお招きし、「レスパイト入院」をご存じですか?について学びました。参加者は15名。介護の必要がある高齢者は2017年には622万人と急増し、介護者にはさまざまな負担による「介護疲れ」が生じ、大きな問題となっています。この介護疲れを軽減するには訪問介護、デイサービス、ショートステイがありますが、レスパイト入院もその一つです。在宅介護などで疲れを感じ、介護力の限界を超え、介護不能となることを予防する目的で短期間の入院が利用できるもの、それがレスパイト入院です。レスパイト入院の利用が可能なのは、介護保険による「ショートステイの利用困難」な医療的ケアが必要な方、「在宅医」(かかりつけ医)から診療情報提供書や介護サービス等の情報が得られる方、です。
- ・ レスパイト入院についての相談は、札幌優翔館病院事務部 医療相談課の相談員、田中・林(社会福祉士)、TEL.011-772-9211 まで。



「レスパイト入院」を実施している札幌優翔館病院(北区東茨戸2条2丁目8-25)

◇ 次回例会のご案内 ◇

2月例会は21日(火)18:30-20:00、「障がいをもって地域で生きるということ」をテーマに、ゲストに高崎正則さん(共同生活援助事業所 ライフサポート・札幌館)をお迎えする予定です。

地域ケア部員、ケア施設町内会員にはメールリストでZoomアクセス情報をお知らせします。その他の方はケア施設町内会事務局・長谷川までメール hasepy55@gmail.com でお問合せ下さい。

なお、すでに行われた1月例会につきましては、次号にて報告します。

■ ボランティア企画部より ■

- ・ 年度内に各戸に配付予定の「困ったときは 先ずここに!」
高齢者の相談窓口は、
「北区社会福祉協議会」757-2482、
「北区第2地域包括支援センター」736-4165、
「北区介護予防センター茨戸」773-6110、

または身近な相談窓口として「拓北・あいの里地区福祉協議会」778-0778(毎週月・水・金曜日の10時~12時)があります。